

え じま ためのぶ 江嶋 為信 (1635～1695)

兵学者。今治藩家老。作家。俳人。日向国(現、宮崎県)出身。飫肥藩士・海老原為頼の三男として生まれた。通称三左衛門、後に長左衛門に改め、松風軒、山水と号した。京都に上り伊藤玄龜に兵学を、さらに江戸(現、東京都)に遊学して古文辞学を荻生徂徠の下で修得した。寛文8(1668)年、今治藩士・小泉三右衛門の推挙によって、今治藩に迎えられ、松平家初代藩主・定房、第2代藩主・定時、第3代藩主・定陳に仕えた。南朝の忠臣・脇屋義助(新田義貞の弟)の逝去した国分寺畔に墓碑を造営して、その忠節を顕彰した。また『新田系譜』1巻を編集し、同氏の事績を明瞭にし、貞享元(1684)年、定陳にも進講し、同藩の文運の振興に努めた。為信は累進して家老となり、俸禄500石を給与された。文才にも長じ、俳諧を西山宗因に学び、俳人としても名を知られた。

略 歴

寛永12(1635)年	日向国飫肥藩士の海老原為頼の三男として生まれる。
明暦元(1655)年	故郷を出奔し、三都を浪々とする。
万治2(1659)年	『身の鏡』発刊。
寛文4(1664)年	『理非鑑』発刊。
寛文5(1665)年	『古今軍理問答』発刊。
寛文7(1667)年	『闕疑兵庫記』発刊。
寛文8(1668)年	今治藩士・小泉三右衛門の推挙によって、初禄100石馬廻役として今治藩に仕える。
元禄4(1691)年	家老職となる。
元禄7(1694)年	俸禄500石となる。
元禄8(1695)年10月8日	61歳で永眠

〈関連図書〉

- ・愛媛県教育会今治部会編『今治郷土人物誌』 愛媛県教育会今治部会 1932年
- ・景浦勉編『郷土歴史人物事典 愛媛』 第一法規 1978年
- ・愛媛県百科大事典編集委員会『愛媛県百科大事典』 愛媛新聞社 1985年
- ・愛媛県史編纂委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- ・愛媛大学付属図書館編『江嶋家文書・永野文庫目録』 愛媛大学付属図書館 2002年
- ・胡光「江嶋家文書に見る今治藩の家老」 今治史談No.19. 今治史談会編 2012年

〈ゆかりのある場所〉…(P265, 5)

〈関連施設〉…愛媛大学図書館

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 TEL: 089-927-8845